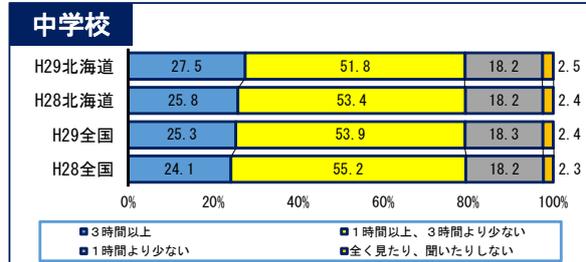
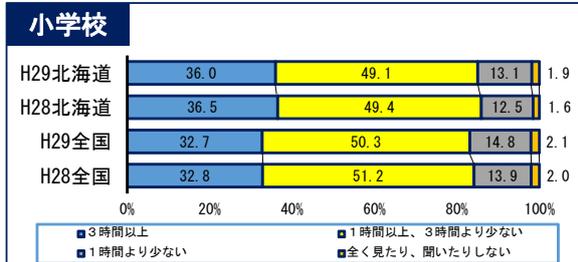


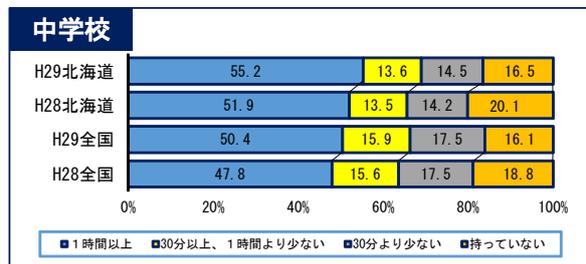
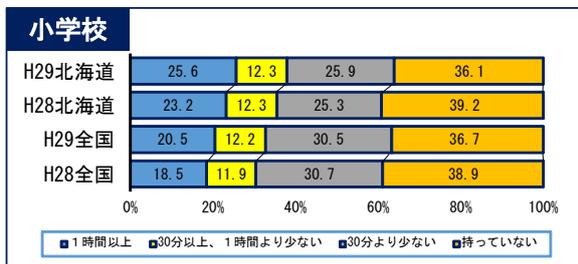
② 生活習慣の確立

生活習慣に関する状況 [児童生徒質問紙の全国との比較]

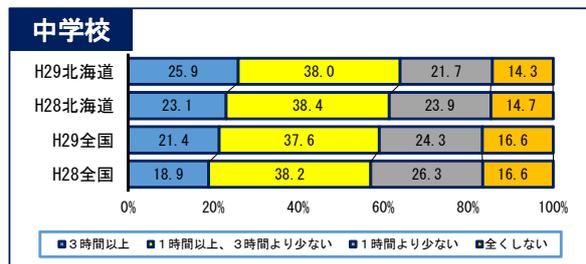
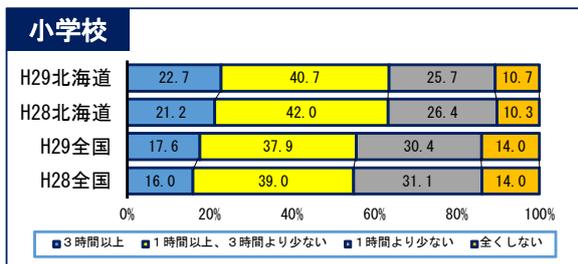
「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか」



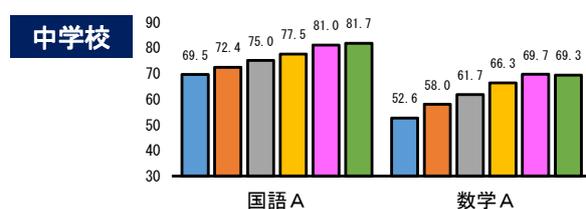
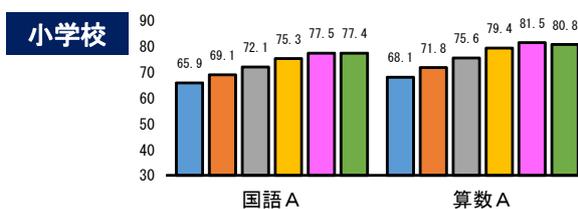
「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話等で通話やメール等をしますか」



「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」



[1日当たりのゲームの時間と学力のクロス分析]



基本的な生活習慣に関する状況については、児童生徒質問紙から「普段、1日当たりテレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間」「携帯電話等で通話やメール等をする時間」「テレビゲームをする時間」が、全国よりも長い状況が見られます。また、平成28年度と29年度を比べると、「3時間以上、テレビ等を視聴する」と回答した生徒の割合、「3時間以上テレビゲームをする」「1時間以上、携帯電話等で通話やインターネット等をする」と回答した児童生徒の割合が増加しています。

これらのことから、児童生徒の生活習慣を確立することができるよう、学校と家庭、地域の共通理解の下、連携を図りながら取組を進めていくことが大切です。

地域の教育力を活用した市町村教育委員会の取組

【通学合宿】

教育委員会では、「通学合宿」を実施し、子どもの生活体験を豊かにすると同時に、地域の大人の参画を得て実施することにより、地域の教育力を高める活動を行っています。

【取組の例】

子どもたちが親元を離れ、地域の施設に宿泊しながら通学する取組であり、地域住民の協力を得て行われています。

【主な活動】（4泊5日で実施）

- ◇生活体験：仲間と協力して行う、清掃や洗濯、布団の上げ下げ、入浴など、日常生活に関わること
- ◇知育プログラム：学習習慣や読書習慣の定着を図る取組
- ◇体育プログラム：ラジオ体操、ニュースポーツ、外遊び
- ◇食育プログラム：地元食材を使った食事づくり、夕食会
- ◇保護者プログラム：子どもの生活習慣や子育ての講話

【推進の重点】

- ◇学校、家庭、地域の代表等が委員となり実行委員会を組織
- ◇食事づくりや登下校指導などにおいて、子どもたちが地域の人たちと自然に触れ合える場面を設定



通学合宿は、地域の大人が参画することにより、地域の行事として定着しています。また、参加者からは、「家で勉強する時刻を決めた」「毎日、学校の図書室に行くようになった」などの感想が得られています。

【放課後子ども総合プラン】

教育委員会では、「放課後子ども総合プラン」を策定し、地域人材を活用した学習活動や体験活動に取り組み、子どもたちの学習習慣や運動習慣等の定着に努めています。

【取組の例】

すべての児童を対象とし、多様な体験・活動を行うことができるよう、学校、家庭、地域の密接な連携に努めています。

【主な活動】（年間100回程度実施）

- ◇学習の場：予習や復習等の学習活動
※年間で39回、夏・冬休みも午前中に実施しています。
- ◇体験の場：スポーツや自然体験等の活動
- ◇交流の場：地域の方や高齢者、異学年との交流活動
- ◇伝承文化の場：百人一首や生け花、お茶等の伝承文化体験

【推進の重点】

- ◇放課後子供教室や留守家庭児童会等との連携・充実
- ◇学校、家庭、地域との密接な連携
- ◇地域ボランティアの発掘及び活用



コーディネーターを中心に、優れた知識や経験、特技をもっている方の参画を得ながら、事業の企画などを行っています。活動が充実するとともに、利用する児童数が増加してきています。

学校と家庭が連携した習慣づくりの取組

札幌市教育委員会では、「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくりに向け、リーフレットを作成・配付し、学校と家庭が連携した習慣づくりを推進しています。

【リーフレット「『学び』のススメ」】

子どもは、どの子どももよさや可能性をもっています。大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。



「～しなさい」メッセージより、「背中を押す」メッセージを！

「～続けなさい」メッセージより、「一緒に」メッセージを！



【学校の取組】

○ 大切な5つのポイント

- ・意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力を伸ばします。
- ・「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようにします。
- ・自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもてるようにします。
- ・生活を自らコントロールする力を育みます。
- ・難しいことにも挑戦する意欲を伸ばします。

作成・配付による啓発

連携した取組の推進

【家庭の取組】

○ まほうのこいわ

- ・**ま** 学んだことを一緒に振り返りましょう。
- ・**ほ** 方法を一緒に考えましょう。
- ・**の** 伸びを認め、ほめましょう。
- ・**かい** 改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。
- ・**わ** わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう。